

Profile



バラノビチ・ノルバート 1978年、南ハンガリーのペーチ市生まれ。

故郷の大学で経済学を専攻した後、2002年に初めて来日し、関西外国語大学でアジア学を学んだ。その後、ハンガリーの大学院でビジネス学を学び修士号を取得。メキシコの権威ある私大、ラス・アメリカス大学・ブエラに教師として招聘された。

2004年に再来日し博士号を取得するため名古屋大学に留学した。在学中、ハンガリーの新聞とビジネス誌の日本特派員としても活躍。首相や経済界の要人をインタビューし、様々なジャンルの重要な出来事を中心に、本国ハンガリーに情報を提供していた。博士課程における卒業論文のテーマは、日本の平和構築を考えた上のODA外交であったが、2008年に名古屋大学に受理され、博士課程を修了した。このテーマに沿って、その後も様々な記事を書いたが、特に重要なのがラウトレッジ出版社から発行された『日本の政治と経済変革の可能性』という本で書いたODAによる平和外交の一章だ。その後、彼は名古屋大学から客員教授として招かれた。

ジャーナリストとして活動する一方、彼はハンガリー最大の食肉加工メーカー、ピック・セグド社の東京事務所を立ち上げ、自らが代表として活躍。食べられる国宝・マンガリッツァ隊をアジア市場に紹介し、ピック・セグド社は日本をはじめ東アジアに販路を拡大した。このことは、母国ハンガリーに少なからず利益をもたらしたと同時に、日本におけるハンガリーの知名度向上にも寄与することとなった。

この功績もあって、民間からの起用により彼は2016年に駐日ハンガリー大使に任命された。語学も堪能で、ハンガリー語以外に日本語、英語、スペイン語とドイツ語を話す。趣味は食文化の探求、映画、スポーツ、旅行、異文化交流。



古館由佳子 (ジブシーヴァイオリン)

岩手県宮古市出身。桐朋学園大学音楽学部卒。

ハンガリー・ブダペストにて、ハンガリー最高賞であるコシュート・ラヨシュ賞受賞者のポロシュラヨシュ・ヴァイダ・バルナバシュにジブシーヴァイオリンを師事。2006年、ハンガリー国際ジブシーヴァイオリンコンクールにて、審査員特別賞、レメニ・エデ協会賞、ハンガリー演奏家・舞踊家協会賞、をそれぞれ授賞。ロマ民族以外で、また、アジアの女性として初めての授賞として、ハンガリー国内外で話題をさらった。その後、マジャールTV、ドゥナTVに出演、特集番組が組まれた。

ヴァイダ・ジブシー・コンサート・オーケストラの共同設立者兼ソリスト。

2012年と2013年には、ハンガリー国立博物館のコンサートに招聘され、大成功をおさめた。

これまでに、シャント・フェレンツ、ロビー・ラカトシュ、ラーズロー・ベルキ等と共演。

2006年に発売されたジブリア映画音楽CD『宮崎駿の世界へヴァイオリンとピアノの調べ』は、iTunesで6ヶ月以上売り上げ一位を記録し、その年の年間ベストアルバム第三位に輝いた。

また、ポニーキャニオンより編集盤が発売された。

2014年ロサンゼルスで行われたWCOPA(ワールドチャンピオンシップ・オブ・パフォーミングアーツ)で、6つの部門においてそれぞれ金メダル受賞、加えて五つのカテゴリにおいてチャンピオンとなる。

NHK深夜便出演、NHKクラシック番組にハンガリー語対訳提供。

宮古市の実家は東日本大震災で被災。



ヴィハル・エディット 翻訳家、文学史家、俳人、大学教授 (日本語、日本文学)

エトヴェシュ・ローランド大学(1975-)、カーロリ・ゲーシュバル大学(1996-)で教鞭をとる。日本研究基金会長、ハンガリー・日本友好協会会長(2001-)、ハンガリー翻訳協会運営委員、羽仁基金理事。

世界俳句協会ハンガリー代表(2006-)、国際芥川龍之介学会会員(2005-)、2001年、『世界俳句評論』のエッセーコンテストで一等。

2002年、秋田で開催された世界俳句フェスティバルにおいて、英語の俳句で一等受賞。

この時の様子はNHKの番組で紹介される。

2009年、日本国政府より旭日中綬章を授与される。

2010年、ペーチで世界俳句フェスティバルを主催。

2015年、日本語・ハンガリー語大辞典を編集出版し、日本の外務省から表彰される。

主な業績

- 『日本文学史』(1994)
- 『俳句のこころ』(1996)
- 『松尾芭蕉の俳句』(1996)
- 『桃太郎、日本昔話』(2001)
- 『八岐大蛇、日本昔話』(2003年)
- 『羅生門とネメテック』(『ハンガリー・ヨーロッパの宝石』)(2009)
- 『ハンガリー語俳句千句』(2010)
- 『ハンガリー俳句略史』(『世界俳句』No.9, 2013.)
- 『源氏物語と世界文学』(2015)
- 『日本の源氏とハンガリーの孫君』(2015)

主な翻訳

- 大江健三郎『万延元年のフットボール』
- 松尾芭蕉『奥の細道』
- 近松門左衛門『心中天竺島』
- 夏目漱石『坊っちゃん』『自転車日記』
- 芥川龍之介『蜜柑』『地獄変』『藪の中』『馬の脚』など
- 川端康成『伊豆の踊子』『眠れる美女』



古館由佳子とジブシーバンド



平賀康子 (アコーディオン)

東京生まれ。立教大学文学部独文専攻。

フレンチミュゼットをアコーディオンで独学後、江森登氏にクラシックのアコーディオンを師事。

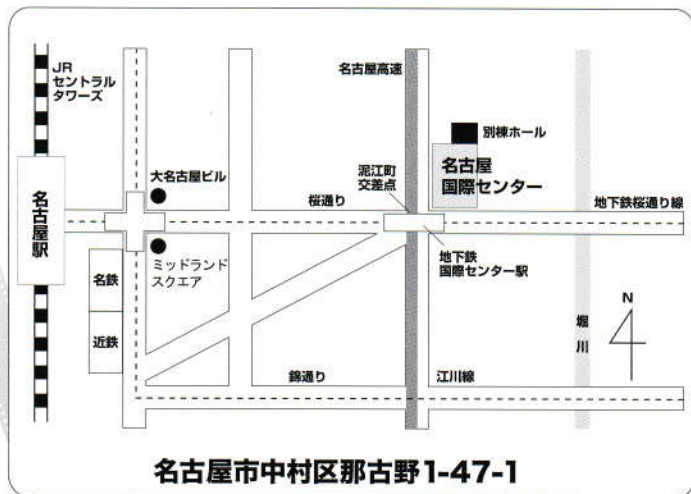
1996年よりアコーディオン奏者として演奏の仕事始める。

様々なジャンルのアーティストのサポート、TVCM、ドラマ等スタジオレコーディングで弾く。

ナニワエクスプレスの岩見和彦氏(gt)や、ラストタンゴの江森孝之氏(gt)らとインストのバンド『バナシェ』でビクターエンターテインメントよりアルバムをリリース。

また、オランという名前でシンガーソングライターとして、子供からお年寄りまで親しまれる幅広い音楽性のオリジナル曲を作詞作曲、アコーディオン弾き語りライブを続けている。5枚目のアルバムを現在制作中。

【名古屋国際センター交通案内】



公共交通機関

●名古屋駅から東へ徒歩7分

JR「名古屋」、名鉄「名古屋」、近鉄「名古屋」駅から徒歩7分です。地下街「ユニモール」を直進していただくと、地下鉄桜通線「国際センター駅」及び名古屋国際センタービルの地下とつながっています。(財)名古屋国際センターへはビルの低層階エレベーターをご利用の上起こしてください。

●地下桜通線「国際センター」駅下車すぐ

●市バス「国際センター」下車すぐ

高速道路

●名古屋高速「丸の内」出口から

出口から直進し、「日銀前」交差点を右折して桜通を名古屋駅方面に向かい、「泥江町(ひじえちょう)」交差点手前で右折してください。高速出口からの所要時間は約5分です。

別棟ホールへの行き方

ホールへの出入り口は地上のみですので、地下からお越しの方はビル1階の北側出口からホールへお入りください。

問合せ先 事務局長 志村 Tel/Fax : 0568-76-4347
090-1090-3437

E-mail : ambt@hotmail.co.jp
協会のHPアドレス : <http://aicsimagyar.sakura.ne.jp/wp/>

ハンガリーフェスティバル

申込書

氏名	
住所 〒 □□□□□□□□	
電話番号	メールアドレス
友好協会会員ですか? Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>	備考

FAXでのお申し込みは、**0568-76-4347**